

兵庫県養成医かわら版

第1号

2022年12月12日

発行：卒後ユニット

まずは自己紹介から

ごあいさつ

皆さん、こんにちは。このたび、養成医の支援組織である卒後ユニットとして、連携や情報交換、地域医療の魅力や病院の紹介などを目的とする電子媒体の機関誌『卒後ユニット瓦版』を発行することになりました。現役の義務年限期間中の先生だけでなく、地域枠の学生さん、指導医先生方にも送らせていただきます。

どなたでもいつでも原稿を寄せていただいても構いませんが、当面は当方から依頼する形も取りたいと思います。（そうはいっても何を書いて良いかわからないと言う人もおられると思いますので、インタビュー形式なども考えています。）兵庫県養成医制度を盛り上げていくためにご協力をよろしくお願いします。（卒後ユニット）



坂ロー彦

神戸大学大学院医学研究科

地域社会医学健康科学講座

医学教育学分野 医学教育学部門

特命教授

経歴：

H 元年神戸大学卒業、大学院卒業後、IHI 播磨病院（相生市）で7年間内科部長として勤務。

その後、大学病院糖尿病内分泌内科病棟医長、医局長、総合内科診療科長、神戸大学医学部附属病院内科専門医養成プログラム研修委員長などを経て、2022年10月より現職。

専門：糖尿病・代謝学、一般内科

養成医の皆さんへ：

強い使命感をもたれてこの道を選ばれた先生方を尊敬します。一方で、若い皆さんはライフイベント、研修や進路に関して悩まれることも多いかと思います。県の医務課・病院局とともに、皆様のキャリア支援に努めたいと思いますので、気軽にご相談ください。



見坂恒明

神戸大学大学院医学研究科

地域社会医学健康科学講座

医学教育学分野 医学支援学部門

特命教授

経歴：

H12年自治医科大学卒業。兵庫県養成医として県立淡路病院、和田山病院、村岡病院勤務。豊岡病院勤務時は総合診療科、ドクターヘリ立ち上げに従事。その後、自治医科大学地域医療学センター総合診療部門で勤務。臨床研修 優秀指導医賞、教務委員会最優秀教員賞など受賞し、2012年講師、2014年准教授。大学病院総合診療内科立ち上げ、病棟医長を経て、2015年より現職。

専門：総合診療、感染症、医学教育

養成医の皆さんへ：

単科の知識や手技レベルは数年で一定のプラトーに達します。一方、単に医師が十分でない地域病院で勤務し幅広く診療に従事するにとどまらず、若くして診療チームのリーダーや医療安全・感染対策等の任を得たり、経営について考えたりする機会を得ることは、医師としての圧倒的メリットです。若くして研修病院の様な比較的規模の大きい病院だけでなく、小病院・診療所を経験し、双方の視野を持つことが、義務年限終了後、養成医の圧倒的な強みとなります。日本で、一人前の医師とみられるのは10年ほどの経験です。目先の症例や手技にとらわれず、養成医として義務年限中に得られる強みを活かしてください。

神戸大学大学院医学研究科 医学教育学分野キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597（総合内科医局内）